

パソコンから教室新聞



面倒だけど怠っつてはいけない「セキュリティ」対策。その中でも盗まれたら直接被害にってしまうのは「ID」と「パスワード」です。

IDとパスワード

銀行などのATMでお金を下ろす場合、必要なものは「キャッシュカード」と記憶している「暗証番号」です。暗証番号は、登録時に簡単な推測されやすい番号を避けるように推奨されます。



インターネットの特定のサービス（ショッピングや金融、SNSなど）は、個人登録を行ってから使用開始します。その時に、キャッシュカードと暗証番号の代わりに渡されるのが、「ID」と「パスワード」です。登録後は忘れないようにしましょう。記憶が面倒だからと言って簡単な推測されやすいパスワードにはしないようにしましょう。また、インターネットのサービスごとに利用登録が必要なため、そのサービスごとに「ID」と「パスワード」が必要となります。ここでも面倒がらずに「パスワード」はサイトごとに別におきましよう。コレが面倒で「パスワードを同じにしている」という方を時々見受けられます。「ID」は同じものでも構いませんが、パスワードは必ず別になります。



パスワードが一つバシたり盗まれたりすれば、利用登録しているすべてのサービスを使われてしまいます。銀行からはお金が降ろされ、買い物サイトからは買い物料金の請求、SNSでは本人になりすまされまます。被害甚大です。必ず分けましよう。

パスワードを分けようとして、バラバラにし過ぎると、作る時も覚えることも面倒です。自分なりの規則を作りそれに基づき作成することが良いでしょう。例えば、何かの記念日とイニシャルと連番の組み合わせなど、考えてみましよう。(19971029at001~2.3.4.5.....など) これだと長くなっても記憶は簡単です。

2段階認証も忘れずに

2段階認証とは、「ID」と「パスワード」が入力されても、すぐにログインはできず、もう一つの追加番号も使ってログインする方法です。もっ一つの番号は、予め登録されている電

話番号やメール宛に番号が通知されます。これだと、万が一、誰かがログインしようとしても、番号がもう一つ必要になるためログインはできなくなります。セキュリティが強化された方法です。グーグルアカウントやマイクロソフトアカウント、アップルIDなどで採用されています。ぜひ設定しておきましよう。

●グーグルアカウントの例

- ① ログイン画面でIDとパスワードを入力
- ② 「ようこそ」画面が表示されるので「配信」
- ③ グーグルからコードが記されたメールが届く
- ④ コードを入力する
- ⑤ ログイン完了



いつも使うパソコンでは、1度行えば良い仕組みもあります。

2段階認証の設定があらかじめ必要ですが、行っておくと、不正アクセスを試みる側では②から先が進めません。(ログインできません)

年末・新年に向けていらぬ被害に合わないようセキュリティには気を配っておきたいものです。気持ちよく新年を迎えましよう。今年も教室新聞にお付き合い頂きありがとうございます。少しは興味のある話題は見つかりましたでしょうか。来年も何かと気になることを見つけて簡単に紹介していきたいと思います。来年もよろしくお願います。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからご覧いただけます。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next year